

高等学校(単位制)

小学校

幼稚園・保育園

令和7年8月印刷

教育一貫独自プログラム

を示してあります。



「こころ豊かに
「人」「物」「環境」への思いやりを

ぶんかを育て

しぜんを愛する

RUIZAちゃん

※2 開かれた学校づくりのために、地域の方に学校教育に参画してもらう仕組みの一つ。令和4年度から「信州型」から「国型」へ変更しております。

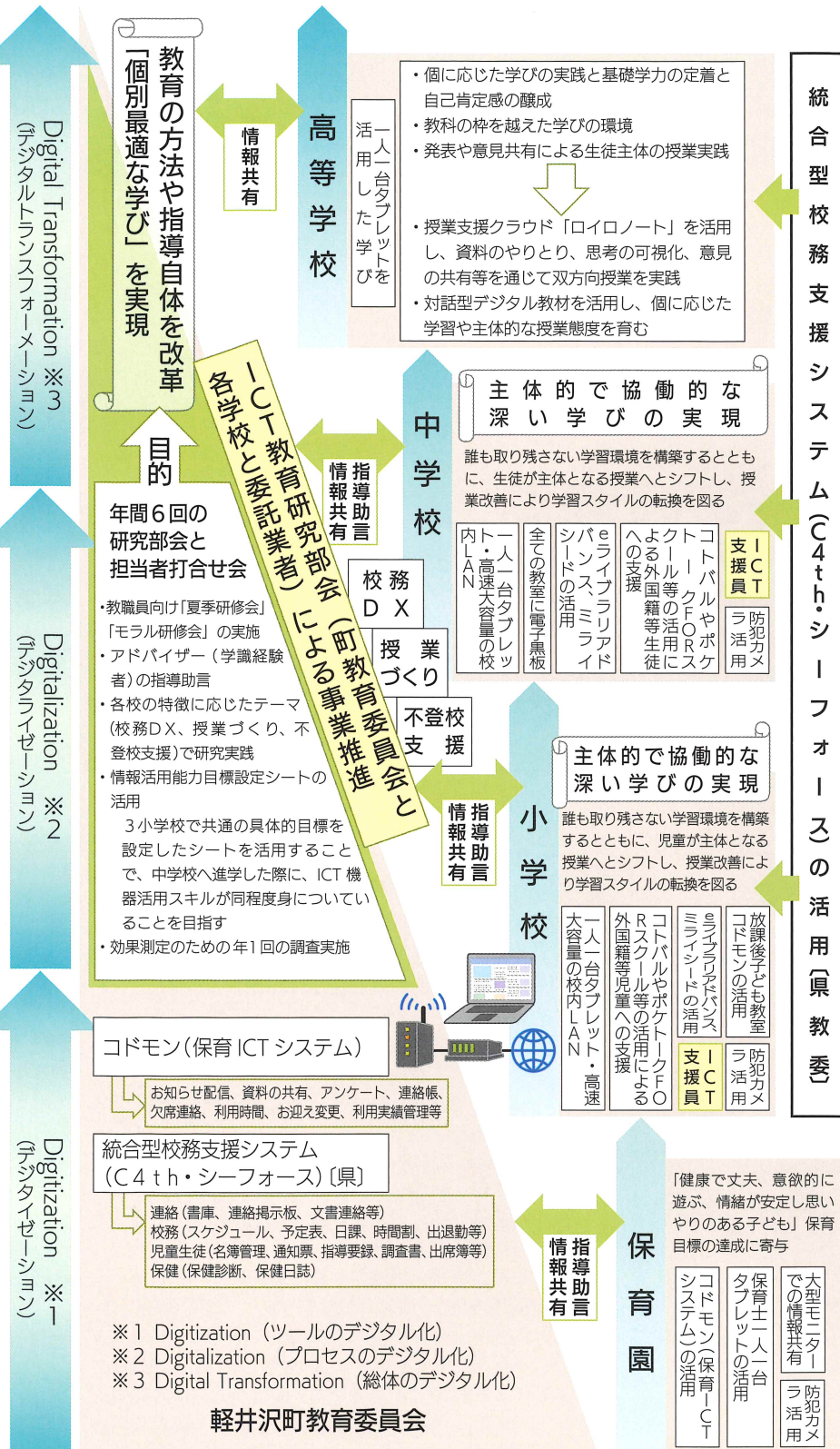
軽井沢町における3つの教育一貫独自プログラム〔概念図〕



令和7年4月現在
軽井沢町
軽井沢町教育委員会

教育DX

～『デジタルの力でリアルな学びを支える』教育環境体制～



軽井沢町は、いち早くタブレットや校内LAN、ICT支援員を各校に配備。各校で重点テーマを設定して研究と実践を行うなど、適切なICT等の活用により子どもにも先生にも望まれる教育環境体制を構築します。

軽井沢学

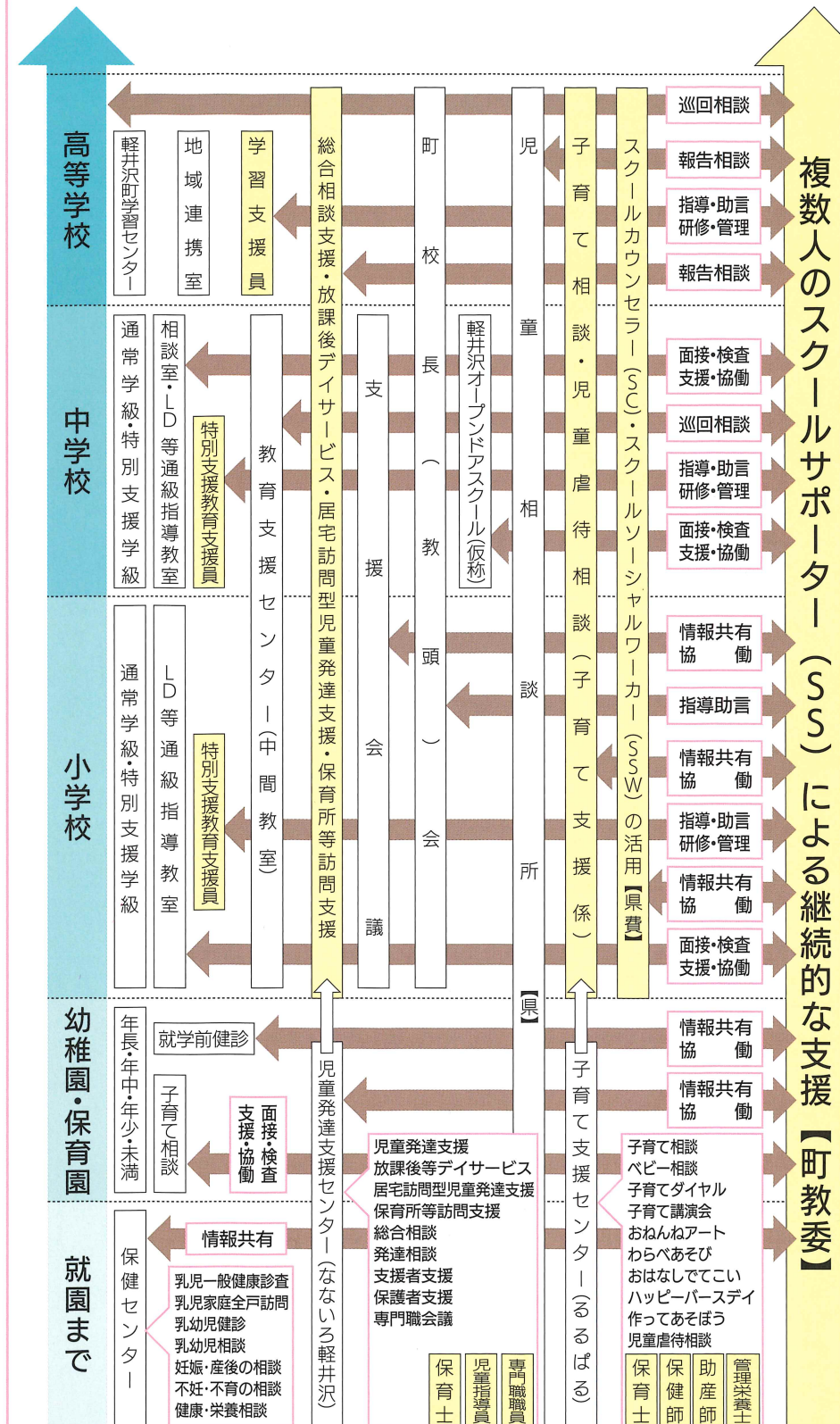
～町の豊かな自然・歴史・文化・人材等を活用した独自の学びや体験～



町が誇る自然・歴史・文化・人材等の教育資源を活用した学びや体験を総称して『軽井沢学』と再定義。軽井沢学が継続的に実施できるように連携・協働等のコーディネート役を配置し、独自の学びや体験のプログラムを構築します。

SS支援

～町の公認心理師・臨床心理士（スクールサポーター）による相談支援体制～



臨床心理士等の資格や専門的な知識・経験を持つSS（スクールサポーター）が、タイムリーで長期的で安定的な相談・支援を実施。さらに個々の相談者、不登校児童生徒、保護者へブッシュ型支援を行う相談支援体制を構築します。

「軽井沢学」は地域の誇れる教育資源である自然・歴史・文化・人材などの特色を生かした独自の中心的な学びや体験のプログラムであり、軽井沢っ子を育て、軽井沢愛を育み軽井沢力を磨いていく上でも核となる学びとなる。「SS支援」及び「教育DX」は各段階における教育課程や軽井沢学等を実践する上で、園児・児童・生徒・保護者・教職員にとって心強い支援・下支えとなる。